2010381834

目次

凡例　i
はしがき　iii

叙説　アカルチュレーションの機序……1

第一章　開化の前提

第一節　心身論の日本的展開……35
問題の所在　35
『養生訓』　36
後期養生論　42
思想的成熟　47

第二節　洋楽受容の非音楽的基礎……57
問題の所在　57
受容の経路と根拠　61

三弦「流行」説　63
明治八年の世相　66
猥褻批判と新制度　73
伝統音楽の立場　76

第二章　開化の態様

第三節　ビゴー小吾妻図解読……83
問題の所在　83
照明　88
食事時間　91
帽子　94
花　97
階上、階下　101
牛肉　104
菜食　108
価格　112

テーブル 116
家族 119
第四節　ウェスト・エンドのビクトリアン・レストラン……131
問題の所在 132
食事時間 133
照明 138
階上、階下 144
テーブル 147
花 153
帽子 158
家族 163
牛肉 166
菜食 174
価格 182
立地 185

第五節　コウシノフリカンドウ、ウマの東北へ……201
問題の所在　201
牛馬現存数と屠牛数　202
前代の生活　207
栄養思想　212
西洋料理と新商売　218
西洋料理屋の成否　227
「西洋」の焦点化　237
第三章　開化の動力
第六節　日本〈小国〉意識の防衛機制……259
問題の所在　259
空想への逃避　260
対照的価値の実現　262
価値の顚倒　266
膨脹　269

[illegible]
膨脹 269
台湾出兵 272
第七節　はれといふおもひ……283
問題の所在 283
正式としての晴れ 285
公としての晴れ 290
表としての晴れ 292
外としての晴れ 301
晴れと時間 303
晴れの成立法 307
晴れと象徴 310
伝統社会と偶然性 313
主要文献目録 321
あとがき 327

図版一覧 *21*
索引 *3*
Acknowledgements *1*